

オガサワラハンミョウの概要

1. 分類

コウチュウ目 ハンミョウ科
オガサワラハンミョウ
Cicindela bonina
絶滅危惧 I A 類（環境省レッドリスト 2012）



2. 形態的特徴及び生物学的特性

- ・背面は暗緑色で体下面及び肢は金緑光沢を帯びる。体長 10～15mm。
- ・生息場所は、乾燥低木林内にパッチ状に存在する裸地で、イネ科などの植物がまばらに生育する環境を好む。小笠原諸島において、こうした環境は限られている。
- ・日本固有種

3. 分布状況

小笠原諸島の父島及び兄島のみで記録されている。父島では、1931 年以降の記録がなく、絶滅したものと考えられている。

4. 現在の生息個体数

唯一の生息地である兄島では、個体数は非常に少ないと推定されている。

5. 生息を脅かす要因

開発や外来種の樹木（モクマオウ等）の繁茂による生息環境の喪失が大きな要因となっている。また、夏場の干ばつや羽化時期の大型台風の襲来も個体群に大きなダメージを与える。コレクターによる捕獲圧も大きいと考えられる。

6. 保護増殖事業の概要及びその効果

- ・平成 20 年国内希少野生動植物種に指定、平成 21 年保護増殖事業計画（農林水産省、国土交通省、環境省）策定
- ・生息地での生息状況等モニタリング調査を実施
- ・兄島でモクマオウ、リュウキュウマツの駆除を継続的に実施
- ・原因不明の生息数減少が続いているため、緊急的に生息域外で飼育繁殖試験を実施

7. 他法令等による保護

特になし。